

町内小・中学校で卒業式

内海中・長月小・久良小では最後の卒業生 門出の日

3月15日(金)中学校で、22日(金)は小学校で卒業式が行われ、中学校118人、小学校118人の児童生徒が卒業の日を迎えました。

閉校となった内海中学校・長月小学校・久良小学校で最後の卒業式が行われ、内海中学校12人、長月小学校7人、久良小学校3人の卒業生が、保護者や教員に見守られながら式に臨みました。



内海中学校では卒業生代表の廣瀬愛菜さんが、仲間や先生、地域の皆さんとの思い出を一つ一つ思い返しながら、「私たちが待ち受ける予想できない未来や困難に、くじけそうになることもあるでしょう。しかし、内海中学校最後の卒業生としての誇りとこれまで関わった全ての方々への感謝を忘れず、私たちはまっすぐに力強くそれぞれの道を歩んでいきます」と感謝と決意に満ちた卒業の言葉を述べました。



長月小学校では若松隆仁校長が、「6年間の歩みの中には、さまざまな思いがあったことでしょう。そのすべてを乗り越えて今日という日があることを、共に祝いたいと思います。そして、長月小学校最後の1年間をリードしてくれたことを心から感謝しています。あなたたち7人の存在が、この学校を締めくくることに必要でした。本当にありがとう」と優しく卒業生に語り掛けました。



久良小学校では、山中広樹校長が「努力の過程は人をつくる、結果は思い出をつくる」という言葉とともに「自分の可能性を信じ、努力を積み重ね大きく大きく成長してくれることを期待しています。久良小学校唯一無二の最後の3人の卒業生としてこれからも見守っていきま」と述べ、新たな道に羽ばたいて行く卒業生を見送りました。



閉校記念式典・記念碑除幕式

ありがとう、さようなら 内海中・長月小・久良小



3月17日(日)、37年の歴史に幕を下ろした内海中学校の式典では、閉校記念作品として生徒たちが地域の皆さんと協力して作り上げたシーボーンアートのモニュメント点灯式も行われ、温かく優しい光が会場内を照らしました。



愛媛
CATV
動画



3月23日(土)、卒業式の翌日に行われた長月小学校の閉校式。会場内に展示された児童たちの作品を見ながら、来場者たちは149年の間ふるさと長月を見守り続けた学び舎へ感謝と別れを告げました。



愛媛
CATV
動画



3月24日(日)、149年間で延べ4,500人もの子どもたちを育み続けた母なる学び舎で行われた久良小学校の閉校式。長く地域の支えであり続けた学校の最後に、出席者たちは深い感謝を捧げました。



愛媛
CATV
動画